

第 17 回 横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会 会議録	
日 時	令和 7 年 1 月 28 日 (火) 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	横浜市役所 18 階会議室
出席者	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷 和夫 (東京海洋大学 教授) ・稻垣 秀輝 (株式会社環境地質 代表取締役会長) ・海老原 佐江子 (城南かがやき法律事務所 弁護士) ・齊藤 広子 (横浜市立大学 教授) ・白木 克繁 (東京農工大学 准教授) ・杉山 文章 (神奈川県土地改良事業団体連合会 専務理事) ・二木 幹夫 (一般財団法人ベターリビング 総括役) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎原 純 (建築局宅地審査部長) ・石井 聰 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当課長) ・可知 孝弘 (建築局宅地審査部宅地審査課担当係長) ・杭瀬 竜太 (建築局宅地審査部宅地審査課担当係長) ・高橋 智子 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・高橋 洋平 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・大竹 純矢 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・羽布津 太一 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・瀬戸 陸 (建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当)
欠席者	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅野 志穂 (森林総合研究所 国際戦略科長)
開催形態	非公開
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第 16 回会議録等の確認 3 意見聴取事項 <ol style="list-style-type: none"> 1 既存盛土等調査における応急対策の必要性の判断基準について <ol style="list-style-type: none"> (1) 崩壊が発生している場合・崩壊を示唆する変状等の基準 (2) 状況が切迫性を有するかの基準 2 技術的基準について <ol style="list-style-type: none"> (1) 軟岩と扱う条件 (継続) (2)擁壁を設置する地盤の深層混合処理での地盤改良を行う場合の改良率 (3) 盛土内排水施設の設置について (4) 盛土規制法の手引き (制度編・設計編) の内容について 4 事務連絡 5 閉会

決 定 事 項	—
議 事	<p>審議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内部での検討がまだ十分でない情報であり、それを公にすることにより、外部からの圧力や干渉等の影響を受け、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあること ・ また、現在検討中の未成熟な情報が含まれており、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条第2号、同条第3号及び第7条第2項第5号に基づき非公開とします。
資 料 ・ 特 記 事 項	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 【資料－1】 宅地造成等規制法改正を踏まえた本市の対応について (2) 【資料－2】 第16回横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会 会議録 <p>2 次回開催について</p> <p>未定</p>

※本会議録は委員及び会議関係者で確認の上、内容を確定しています。